

ある日の育児日記から

(46)

佐藤 和代



有は二歳と三か月。やっと、おしめがとれまし  
た。オマルに座らせればおしっこをするようにな  
ったのが、暑くなってきた頃。で、いきなりお  
しめもパンツもとって、スッポンポンで遊ばせて  
みました。「パンツがあると安心して、もらすの  
よね。何もないと、かえって出せないみたい」と  
友人が言っていたので、実行してみたのです。  
その結果かどうか、すぐに「おしっこ」と言え  
るようになりました。大成功！ とほくそえんで  
いたのですが…。

好きになってしまったの  
です。パンツをはかせよ  
うとするとイヤイヤッ！  
家の中ではいいけどね  
…。その上、チンチンの  
存在に気づいて、おもちゃにしはじめた。気がつ  
くといじったり、ひっぱったり、何かに押しつけ  
たり、「男の子はみんなやるよ」とお父さんは言  
いますが、このあいだ小さい女の子が遊びにきた  
とき、馬乗りになってチンチンを押しつけていた  
な。これはまずいな。絶対まずい。

というわけで、おしめの  
洗濯から解放されたと思っ  
たら、パンツを持って追  
かけ回すハメになった私。  
いつまでこれが続くでし  
ょうか、やれやれ。



この姿が母としては非常に  
かわいかったりもするわけ。